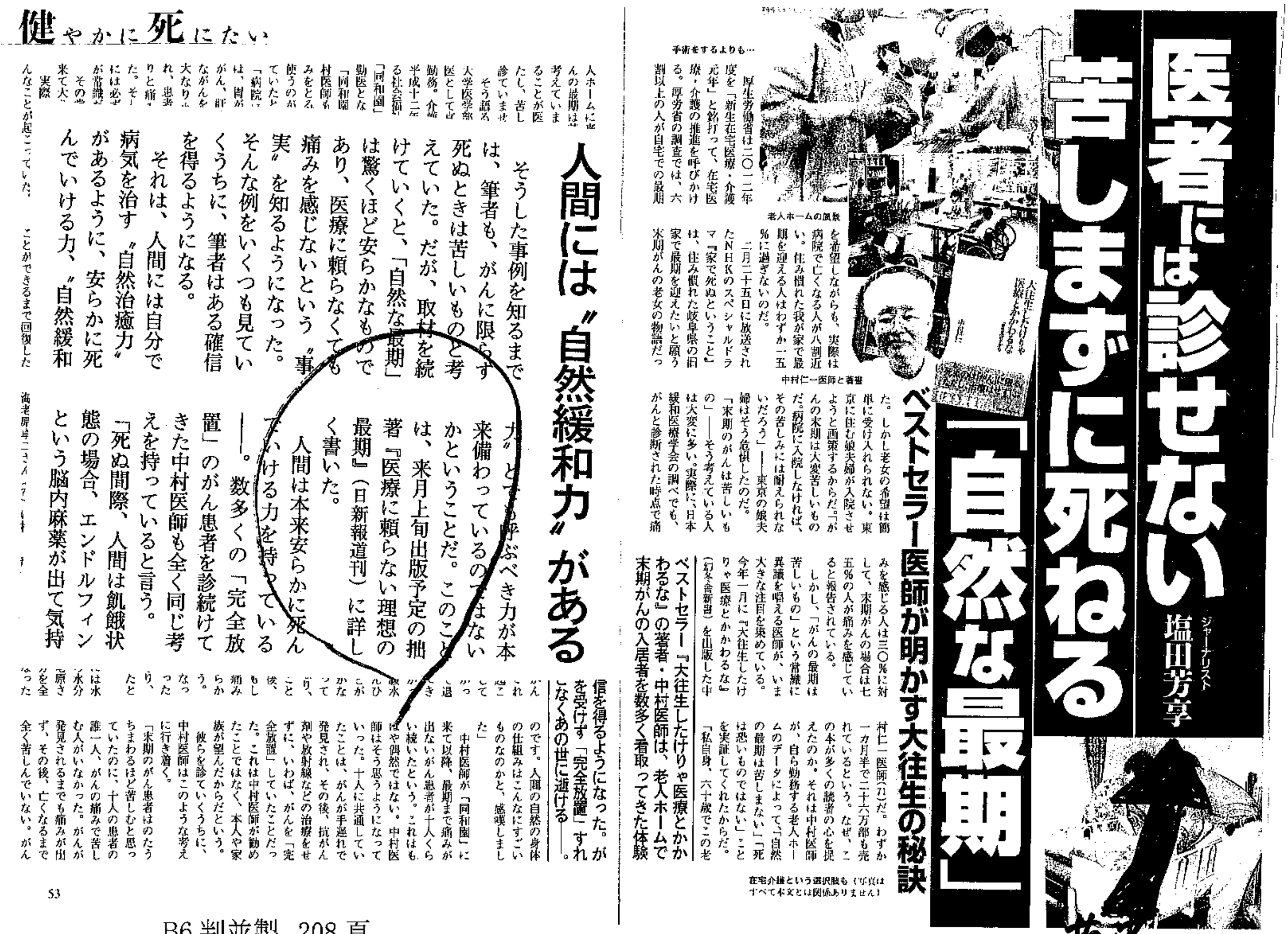
新刊予告　4月上旬発売！（予約受付）

中村仁一先生（ベストセラー「大往生したけりゃ医療とかかわるな」著者）推薦！

本日発売の週刊文春（3月29日号）に記事掲載！



健やかに死にたい

人ホームに常
んの最期は
考えていま
ることが医
たし、苦し
診ていませ
そう語る
大学医学部
医として富
勤務。介護
平成十二年
る社会福祉
「同和園」
勤医とな
「同和園
村医師も
みをとる
使うのが
ていたよ
「病院で
は、胃が
がん、肝
ながんを
大なりま
れ、患者
りと痛み
た。そ」
には必ず
が常識だ
その
来て大
実際
んなことが起こっていた。

ことができるまで回復した

海老原卓一さん（7

人間には〝自然緩和力〟がある

そうした事例を知るまでは、筆者も、がんに限らず死ぬときは苦しいものと考えていた。だが、取材を続けていくと、「自然な最期」は驚くほど安らかなものであり、医療に頼らなくても痛みを感じないという〝事実〟を知るようになった。そんな例をいくつも見ていくうちに、筆者はある確信を得るようになる。

それは、人間には自分で病気を治す〝自然治癒力〟があるように、安らかに死んでいける力、〝自然緩和力〟とでも呼ぶべき力が本来備わっているのではないかということだ。このことは、来月上旬出版予定の拙著『医療に頼らない理想の最期』（日新報道刊）に詳しく書いた。

人間は本来安らかに死んでいける力を持っている――。数多くの「完全放置」のがん患者を診続けてきた中村医師も全く同じ考えを持っていると言う。

「死ぬ間際、人間は飢餓状態の場合、エンドルフィンという脳内麻薬が出て気持

信を得るようになった。が
を受けず「完全放置」すれ
なくあの世に逝ける――。

のです。人間の自然の身体の仕組みはこんなにすごいものなのかと、感嘆しました」

中村医師が「同和園」に来て以降、最期まで痛みが出ないがん患者が十人くらい続いたという。これはもはや偶然ではない。中村医師はそう思うようになっていった。十人に共通していたことは、がんが手遅れで発見され、その後、抗がん剤や放射線などの治療をせずに、いわば、がんを「完全放置」していたことだった。これは中村医師が勧めたことではなく、本人や家族が望んだからだという。

彼らを診ていくうちに、中村医師はこのような考えに行き着く。

「末期のがん患者はのたうちまわるほど苦しむと思っていたのに、十人の患者の誰一人、がんの痛みで苦しむ人がいなかった。がんが発見されるまでも痛みが出ず、その後、亡くなるまで全く苦しんでいない。がん

53

医者には診せない 苦しまずに死ねる「自然な最期」

ジャーナリスト 塩田芳享

ベストセラー医師が明かす大往生の秘訣

ベストセラー『大往生したけりゃ医療とかかわるな』の著者・中村医師は、老人ホームで末期がんの入居者を数多く看取ってきた体験

手術をするよりも…

老人ホームの風景

中村仁一医師と著書

在宅介護という選択肢も（写真はすべて本文とは関係ありません）

厚生労働省は二〇一二年度を「新生在宅医療・介護元年」と銘打って、在宅医療・介護の推進を呼びかける。厚労省の調査では、六割以上の人が自宅での最期を希望しながらも、実際は病院で亡くなる人が八割近い。住み慣れた我が家で最期を迎える人はわずか一五%に過ぎないのだ。

二月二十五日に放送されたNHKのスペシャルドラマ『家で死ぬということ』は、住み慣れた岐阜県の旧家で最期を迎えたいと願う末期がんの老女の物語だった。しかし老女の希望は簡単に受け入れられない。東京に住む娘夫婦が入院させようと画策するからだ。「がんの末期は大変苦しいものだ。病院に入院しなければ、その苦しみには耐えられないだろう」――東京の娘夫婦はそう危惧したのだ。

「末期のがんは苦しいもの」――そう考えている人は大変に多い。実際に、日本緩和医療学会の調べでも、がんと診断された時点で痛みを感じる人は三〇%に対して、末期がんの場合は七五%の人が痛みを感じていると報告されている。

しかし、「がんの最期は苦しいもの」という常識に異議を唱える医師が、いま大きな注目を集めている。今年一月に『大往生したけりゃ医療とかかわるな』（幻冬舎新書）を出版した中村仁一医師(71)だ。わずか一カ月半で二十六万部も売れているという。なぜ、この本が多くの読者の心を捉えたのか。それは中村医師が、自ら勤務する老人ホームのデータによって「自然の最期は苦しまない」「死は恐いものではない」ことを実証してくれたからだ。

「私自身、六十歳でこの老

著者です！

B6判並製　208頁

Fax03-3431-9564　日新報道　営業部　担当：倉内慎哉

書店印	注文数	日新報道 塩田芳享著 **医療に頼らない理想の最期** ISBN978-4-8174-0740-5　C0010　¥1400E
担当者　　　　様		